

# 解放後の韓国大衆歌謡の年表 20 (1960 年)

山根 俊郎 「むくげ通信 277 号」 2016. 7. 31 より

1960 年 (出典 : 韓国のウェブサイト「KPOP」)

## 関連事件

- 1月 韓国映画音楽作曲家協会が発足する。(会長 金聖泰)  
5月 この頃、日本音楽輸入禁止を解除した。日本の大衆歌謡が氾濫した。  
6月 この頃、新世紀レコード新堂洞スタジオが開館する。  
7月 4・19革命の歌 全国普及推進委員会が発足する。(委員長 金教声)  
秋 LP 音盤が SP 音盤を凌駕し始める。  
この頃、作曲家 孫夕友 (男性 ソ・ソギュ 1920-) がビーナス (비너스) レコードを設立した。

## 主要人物

- 6月 作曲家 李在鎬 (男性 イ・ジヌル 1919-1960) 病気で死亡。  
この頃、歌手韓正茂 (男性 ハン・ジョンム ?-1960) 交通事故で死亡。

## 主要作品 (\*原文には題名のみ記載あり。歌手名レコード会社名は山根が記入) ○=今号で紹介。

- 『崩れた愛の塔』 (ムジン サラントプ · 무너진 사랑답) 南仁樹唄・ソウルのキングスター・レコード。  
『海雲台エレジー』 (ヘウンデ エレジー · 해운대 엘레지) 孫仁鎬唄・釜山のトミド・レコード。  
『カチューシャの歌』 (カチューシャ ル · 카추샤의 노래) 宋旻道唄・ソウルの新世紀・レコード。  
『青春ブラボー』 (チョンチョン ブラボー · 청춘부라보) 都美唄・釜山のミド・パレード。  
○『4・19行進曲』 (サイルグ ベンジンコク · 4·19 행진곡) 朴載弘 & 安貞愛唄・新世紀・レコード。  
『ダンサーの純情』 (テンサエ スンジョン · 댄서의 순정) 朴信子唄・ソウルの新世紀・レコード。  
○『青い翼』 (ブルル ナルゲ · 푸른 날개) 朴載蘭唄・ソウルのオアシス・レコード。  
『マドロス ブギ』 (마도로스부기) 白夜城唄・釜山のトミド・レコード。

## 社会文化的な事件

- 1月 在日歌手 金永吉 (男性 キム・ヨンギル 1909-1985 日本名は永田絃二郎) が北朝鮮に帰国 (北送)  
2月 民主党大統領候補 趙炳玉 (チョ・ビヨンオク) が選挙の直前に死亡した。  
4月 19日 4・19革命が起こる。  
5月 李承晩大統領がハワイへ亡命する。  
7月 第2共和国が出帆。

## 外国大衆歌謡音楽史 重要事件

米国でいわゆる「ペイ オラ (PAY OLA) 慣行について議会の調査が始まる。音盤社と放送関係者の間に音盤を聴かせる代価に謝礼する合意があることを摘要した。

Payola とは、支払いを意味する pay とレコードプレイヤーの代名詞であった Victrola の合成語で、レコード会社が DJ に働きかけて特定のレコードを流してもらう見返りに、DJ にリベートを支払うことをさす言葉である。DJ は雇用的に不安定な職業で賃金も低かったため、生活の大半をこのペイオラに頼っていた。

また、1950年代当時はペイオラを違法とする法律も存在しなかつたため、そのやりとりは業界内で慣例化し、謝礼行為として認知されていた。しかし1958年、米国作曲家作詞家出版者協会(ASCAP)はペイオラを放送倫理の腐敗と激しく非難し、下院議会に意見を諮っていた。議会はこの意見を聴き入れ、ペイオラを商業上の賄賂とみなし、違法とする法律を制定した。これにより、1959年から1960年にかけて、ペイオラに関わったDJをはじめとする音楽関係者の多くが、容赦なく業界から追放された。

## 1960年の流行

(出典:「写真で見る光復30年史」(1945年~1974年) 正音社 1975年発行 P148)

服装:マダム エックスライン ベルト (마담 X라인 벨트)

ズーム:デモ (데모)、暴露 (퐁노·폭로)。

流行語:恥知らず (ヤムチエ·얌체)、旧悪 (クーアク·구악)、元凶 (ウォンヒュン·원흉)、死ぬか生きるか 決着(決判)をつけよう (チュンナ サナ キヨルパン ネジャ·죽나 사나 결판 내자)。

## ☆1960年に創作された4・19革命の歌

4・19革命(サイルグヒョンミョン、4・19혁명)とは、1960年3月15日の第4代大統領選挙の大規模な不正選挙に反発した学生や市民による民衆デモにより李承晩大統領が4月26日に下野した事件。最も大規模なデモが発生した日が4月19日であったことから4・19革命と言う。革命後1年足らずで5・16軍事クーデターが起り長い軍政時代に突入したため未完の革命とも呼ばれている。私は、むくげ通信240号(2010.5.30)歌153『4・19の歌』で2010年4月19日の「4・19革命50周年記念式」で歌われた『4・19の歌』(カンウク〔강욱〕詞・金東振曲)を紹介した。しかし、この歌は後日に創作されたものである。4・1

9革命直後にもっとも歌われたのは、『4・19行進曲』(サーイルグ ヘンジソク 4・19 행진곡 朴載弘&安貞愛唄・新世紀レコード)であった。♪学徒は勇敢だ 尊い血を流して民主主義を萬方に献血した 独裁は退陣せよ の叫び声は津々浦々の天地を振動させた 以下は4・19革命を讃えた歌である。各社が創作したが1枚のLPレコードに収められた。



### 『南原の地に眠る』

### 『風楽を鳴らせ』

レコード番号 『曲名』 作詞・作曲・歌手 ☆=ヒット曲。

1	『4月の旗』 (サガル キッパル・4 월의 깃발) 半夜月詞・朴是春曲・南仁樹&学生合唱団唄。ミドパレコード制作。
2 ラベルあり	『南原の地に眠る』 (ナムウォンタンエ チャムトゥロンネ・남원땅에 잠들었네) 車京鉄詞・韓福男曲・孫仁鎬唄。4月11日、馬山港で目に催涙弾を撃ち込まれ死体で発見された学生 金朱烈君を偲ぶ歌。彼の故郷が全羅北道の南原であった。トミドレコード制作。
3 ☆	『4・19行進曲』(サーイルグ ヘンジソク・4・19 행진곡)江南風詞・金富海曲・朴載弘&安貞愛歌。新世紀レコード制作。
4 ラベルあり	『風楽を鳴らせ』(フソアクルウルラ・풍악을 울려라) 青波詞・韓福男曲・韓福男唄。民謡風。ハンナラレコード制作

## ☆1960年にヒットしたオアシスレコードの大衆歌謡

この年、オアシスレコードは女性歌手朴載蘭（パク・チエラン 1936-）を専属歌手として獲得して『ハッピーセレナーデ』、『青い翼』などのヒットを飛ばした。私は朴載蘭が韓国最初のアイドル歌手と思っている。

2曲とも作曲家全吾承（男性チョン・オソン 1923-）が久しぶりにオアシスに復帰して作曲した。男性歌手安多星も『ボヘミアンマンボ』をヒットさせた。



歌手朴載蘭

←『悲しみを乗せた京釜線』  
安多星

『懐かしい釜山港』崔甲石→



レコード番号

『曲名』 作詞・作曲・歌手☆=ヒット曲。

67058-B面 ☆ラベルあり	『ハッピーセレナーデ』(해피세레나데) 孫露源詞・全吾承曲・朴載蘭唄。伴奏 オアシス管弦楽団
67057-A面	『口笛の時節』(フィッパラム シジョル・휘파람시절) 不明詞・不明曲・朴載弘唄。
不明-A面 ☆	『青い翼』(プルナルゲ・푸른 날개) 鄭性壽詞・全吾承曲・朴載蘭唄。伴奏 オア シス管弦楽団
不明-B面 ☆	『ボヘミアンマンボ』(보헤미안 탱고) 金星雲詞・金虎吉曲・安多星唄。伴奏 オ アシス管弦楽団
不明-A面	『黄海道の娘』(ファンハド ハガシ・황해도 아가씨) 高明基詞・金華栄曲・ 崔淑子唄。伴奏 オアシス管弦楽団
LP盤 OL-10365☆	『鴨緑江七百里』(アムノッカン チルハソニ・암록강 칠백리) 白湖=朴椿石詞・ 朴椿石曲・李海燕唄。1966年に李美子がリメイクした。1967年映画「懐かしさ は胸ごとに」(クリウム カスムダ・그리움은 가슴마다) 挿入曲。李美子唄。

来号は1960年-2を執筆します。【続く】